

た拠点づくりに取り組みながら、もう一つの特産品である「徳地和紙」の商品開発を考えています。

### 活動されている中でのご苦労や喜びについて教えてください。

最初のうちは人脈もなく、事務的に電話でアポイントを取ること、むしろ警戒されていたのですが、最近では地元の方からの紹介等で、時にはアポイントを取らずに自ら出向いて行きます。「若い人と話せるだけで嬉しいよ」と地域の方から言っていただけで、その言葉が活動の喜びになっています。活動の様子は地元の情報誌「ふるさととくち」でも紹介されていて、私たちの活動を知って皆さん応援してくださるので有難いです。

これからの目標として、県内外との交流人口を増やすための拠点(交流の場)をつくりたいと思っています。そこで徳地の魅力を発信しながら、カフェやリラクゼーション・スペースをつくり、徳地に滞在してもらえるような仕組みを考えています。今までに自分が海外や国内各地で学んできた技術や知恵を大好きな徳地の地域おこしに活かせるのが楽しみです。

### 活動される上で特に気を付けておられることがありますか。

担当している徳地地区は大変広いのです

が、地域をまんべんなく廻り、こまめに顔を出し声掛けすることで、活動が偏らないように心がけています。

また、活動報告をまとめ、いつでも閲覧できるようにすることで、一緒に活動している仲間と情報共有できるようにしています。

山口市には、私が担当している徳地地区と、他の地区の協力隊員を合わせて4人いますが、それぞれの地区や担当によってミッションは異なります。地区により目的が違うので、協働して何かをすることはありませんが、2週間に1度ミーティングで活動報告や問題解決の方法を相談したり、会えない時にはSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービズ)などを利用して協力隊同士の交流を図っています。

### 地域における女性の活躍についてどのようにお考えですか？

どちらかと言うと男性がリーダーで、女性がそれをサポートするというのが一般的のよう見受けられますが、実は女性がリーダーシップを取っていて、上手く地域を活気づけているように感じています。

特に、徳地の女性は、働く上でのパワーがすごくて驚いています。一人で何でもこなしてしまいう強さや、地域との繋がりを感ずることが出来ます。私も女性だからか、元々の積極的な性格のせいかわかりませんが、地域に馴染むまでにそんなに時



間がかからなかったように思います。地域にとけ込むことでミッション以外にも活動の場が広がり、学生時代に陸上競技をやっていた経験がかわれ、現在、地元小学校で陸上部の指導も行っていきます。

また、8月に開催された地元の大きな催しの一つである「とくち夏祭り花火大会」では、特産品である徳地和紙を活かした、書道パフォーマンスを企画し、実施しました。

地域における女性の活躍となると、どうしても若い女性の姿がないのが現状です。私も実際に活動していく中で、同年代の女性や学生の方などに接することがほとんどありません。地域おこしに若い女性を巻き込む仕組みづくりも、これからの課題だと思っています。

### 今後、どのように活動を展開される予定ですか？

私に課せられたミッションである、地域交流の拠点づくりのために、魅力ある居住地と就業場所が必要となり、住居と仕事のマッチングがうまくいけば定住に繋がると考えています。住居の情報発信には空き家バンクを利用したり、働く場所の提案として、後継者がなく存続の危機に立たされている徳地和紙の生産に県内外から職人となる若者を募集し、最終的に徳地へ定住してもらえよう開拓していきたいと模索中です。

私自身、結婚し、徳地に住所を定めました。子どもはまだいませんが、近所の方々に大変助けられており、子育ても手伝うよと励まされています。こなら安心して仕事と子育てが続けられそうです。徳地は、家族ぐるみの付き合いができる子育て世代に住みやすい場所だということも知って欲しいです。

「徳地の、地から」＝徳地の「力」をキーワードに、母校である山口県立大の「徳地の地から」プロジェクトとも協働しながら、私自身の「外からの地から(力)」を最大限發揮して、若い力を引き込む企画運営に取り組みたいと思います。

(取材・堀江)

男性のリーダーのもとで女性が生き生きと活躍していた時代は過去のものになりつつあります。女性であれ男性であれ、強い気持ちと豊かな感性の持ち主があらゆる分野の未来を押し開きます。